



外来診療担当医表 (令和6年10月)

(2024年10月7日現在)

診療科	月	火	水	木	金	特記事項
脳神経外科	小澤 常德		勝木 将人	森 宏		11:30まで 随時受付
	大学医師	渡辺 直人	渡邊 潤	鎌田 健一	小澤 常德	
	渡邊 潤		森 宏	小澤 常德	森 宏	
内科	<循環器> 山田 昌央	<循環器> 古瀬 博規	<循環器> 渡辺 光洋	<循環器> 長谷川 祐紀	<循環器> 武井 康悦	完全予約制
	<内分泌代謝> 志熊 淳平			<内分泌代謝> 田丸 新一		
		阿部 聡	<内科・腎臓内科> 田中 基嗣	阿部 聡	<呼吸器内科> 小林 克行	
整形外科	久保田 茂夫	久保田 茂夫	久保田 茂夫		山本 格 ※第2・4週	完全予約制
外科	三枝 主弦	有働 竜太郎	三枝 主弦		三枝 主弦	完全予約制
			<呼吸器外科> 垣花 昌俊 ※第1・3週			院内紹介のみ
脳神経内科	齋藤 豊		齋藤 豊	齋藤 豊	齋藤 豊	完全予約制
	林 秀樹				<頭痛外来> 五十嵐 博中 ※第4週	
耳鼻咽喉科	松本 好弘	松本 好弘		松本 好弘	松本 好弘	完全予約制
眼科	田邊 朝子 ※PMのみ			田邊 朝子 ※PMのみ		完全予約制
泌尿器科			豊嶋 豊照			院内紹介のみ
麻酔科 (ペインクリニック)					大瀬戸 清茂	院内紹介のみ
歯科・口腔外科	安楽 純子	安楽 純子 大学医師	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子	完全予約制

受付時間	午前	全科(歯科・口腔外科・眼科を除く) 8:30~11:30 (但し 循環器科 火・水・木 8:30~10:00) 歯科・口腔外科 8:30~11:00
	午後	歯科・口腔外科・眼科 13:30~15:30

- 脳神経外科以外の初診の方は、**紹介状や予約が必要**になります。再診の方も予約が必要です。
※ 予約等のお問い合わせ **平日(月~金)14:00~17:00** をお願いいたします。
- 診療予定が、都合により変更になる場合があります。ご確認をお願いします。

編集後記 パリオリンピックで日本選手団は金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個の計45個のメダルを獲得し海外で行われたオリンピックの中では過去最多の成績を取った記念すべき年ですね。気候変動も夏の猛暑日の日数が最多と毎年更新しているような感があります。体を動かすに何をすることも健康が第一ですね。(H.H)

社会医療法人 嵐陽会 〒955-0071 三条市本町5-2-30
三之町病院 社会医療法人 嵐陽会 三之町病院
 Sannocho Hospital 電話 0256-33-0581

クローバー 第26号
 発行日 2024年10月10日
 発行人 三之町病院
 編集 三之町病院広報委員会



第**26**号
2024年10月

三之町病院 広報誌

クローバー



……事務長よりご挨拶……

本年1月1日に三之町病院事務長を拝命いたしました。奇しくも、当日は能登半島地震が起こった日であります。元旦でしたので、家族と早めの夕飯をとっていた矢先に、携帯電話の警報音がけたたましく響き、緊張感と共に、中越地震、東日本大震災以来のトラウマにも似た胸騒ぎを覚えたことは、今でも鮮明に思い出されます。長く気持ちの悪い横揺れが少し収まったのを見計らい、病院に向け車を走らせました。中でも一番心配だったことは、ちょうど患者さんの夕食の時間が近かったので、エレベータが止まってしまうと厨房から階段を使い、人海戦術で配膳をしなければならないということでした。幸い病院に向かう道中でエレベータが復旧して使えるという連絡があり、少しホッと胸を撫で下ろしました。



スタートから波乱万丈の予感がする中、3月の県央基幹病院開院、6月の診療報酬改定と様々な変化を迫られる中で、皆様により良い医療を提供する病院運営のために、模索中の毎日です。まだまだ不慣れではありますが、今後ともご指導の程よろしく申し上げます。

2024 (令和6) 年10月10日 事務長 波多 淳一





当院の安楽純子歯科医師が令和6年能登半島地震の支援活動に参加しました。被災地での活動についてご報告をいただきました。

令和6年能登半島地震により、能登ではたくさんの避難所が開設されました。私は日本環境感染学会の災害時感染制御チーム (DICT) のメンバーとして、避難所の感染対策を支援する活動を行いました。避難所は集団生活になり、様々な感染症が流行する危険性が高く、震災関連死を防ぐためにも感染対策が重要です。介入する避難所の選定は、国立感染症研究所が各避難所から得られたデータを分析し、感染症が増えている場所や見守りが必要な場所を提示してくれるので、そのような場所を重点的に回りました。時季的に新型コロナ・インフルエンザ・感染性胃腸炎の発生があり、現場の確認・指導、消毒に必要な物資の支援、隔離場所の検討、ポスター掲示などを行いました。また学会協賛企業からの支援物資・国立国際医療研究センターの資金援助・厚生労働省の支援があり、現場ではDMATやJMATとも協力して活動しました。今回の震災では上下水道の復旧の遅れが目立ちましたが、院内で断水が起きた場合の備蓄や汚物処理方法など、平時から災害時も想定した院内感染対策を構築する必要性を感じました。この経験を、院内だけでなく地域に還元できるように研鑽を積みしたいと思います。



災害へ備えよ。消火訓練



新人研修の一環として、万が一の事態に備え消化器を実際に扱う消火訓練が行われました。地震・火災などに備えた訓練は年4回行われます。非常時に適切な行動をとれる様、日々取り組んでいます。

